

中央住宅 商圈拡大へ、 朝霞営業所を開設

新ブランドを掲げて東武東上エリアを開拓

ポラスグループの中央住宅は、東武東上線朝霞台駅・武蔵野線北朝霞の駅前にグループ初となる分譲住宅部門の営業所を開設した。同グループでは、ここ数年、施工体制などを整えながら商圈拡大に取り組み、朝霞営業所の開設によって、本格的に東武東上線エリアの開拓に乗り出していく方針だ。

に開設した。東武東上線沿線での分譲住宅事業の営業所開設はグループ初となる。

早期に100棟を目指す
まずはポラスの知名度向上を

ポラスグループでは、大宮エリアの分譲事業が軌道に乗ってきたこともあり、2013年12月には東武東上線プロジェクトを発足させ、埼玉県内でもポラスグループの知名度が低い東武東上線沿線での事業展開に向けた準備を進めてきた。

また、注文住宅事業では新ブランド「MOK HOUSE」を立ち上げ、埼玉県新座市にショールームを開設している。

さらに、営業所開設に先行する形で埼玉県川越市において全26棟からなる分譲住宅プロジェクト「川越クレストヴィラ 新宿町」の販売も実施。

こうした取り組みを通じて、新エリアでの施工体制とアフターサービス体制を構築し、営業所の開設を契機として本格的に新エリアでの分譲住宅事業に取り組みたい方針だ。

新たに設置した朝霞営業所を中心として、まずは川越エリアから朝霞・志木・和光エリアまでの範囲を中心として事業を進めていきたい考え。

朝霞営業所の高橋明所長は、まずは早期に年間100棟を実現させていきたい」と語る。

前出の川越でのプロジェクトのほかに、新座、志木、上福岡などで分譲住宅の販売を開始している。高橋営業所長によると、「まずはポラスの知名度を高めていき、これまでのノウハウなどを活かしつつも、このエリアの方々のニーズを捉えた住宅を供給していきたい」という。

ポラスグループでは、主力である分譲住宅事業の商圈拡大を推し進めている。本社がある埼玉県越谷市を中心として、埼玉県の東宮エリア、千葉県の船橋エリア、東京都内でも足立エリアなどでの分譲事業を展開している。

このうち大宮エリアについては、全125棟の「大宮ヴィジョンシテイプロジェクト」を手掛けるな

ど、新エリアでの事業が軌道に乗りに始めている。

また、船橋エリアにおいても2014年度の契約棟数が初めて200棟を超えるなど、着実に実績を残しつつある。

そして、今回、東武東上線沿線を中心とした埼玉県の西部エリアの開拓に向け、中央住宅・戸建分譲第一事業部の朝霞営業所を新

「フレイベスト」ブランドで 木の素材感を活かした住宅を訴求

新規エリアでの事業展開に当り、分譲住宅の新ブランド「FLAVOR EST（フレイベスト）」をスタートさせる。

フレイベストとは、Flavor（香り・味わい・趣）、Forest（永遠）、Forest

（森）という意味を兼ね備えた造語。「森の空気を楽しむ家」というテーマを掲げ、「無垢材を使用した床材や壁材などを効果的に採用することで、木の質感を感じる住宅を提案していく」と、戸建分譲設計本部の酒井かおり係長は解説する。

同社は、新規エリアについて、豊かな自然環境が残る郊外住宅地が広がっており、自然派志向の商

品がふさわしいと判断。こうした背景から、木の質感といったナチュラルテイストを前面に押し出したフレイベストシリーズのコンセプトを構築した。

中央住宅では、2012年から子育て世帯向けの分譲住宅シリーズとして「きんりのまち」を展開しており、第6回キッズデザイン賞を受賞するなど、高い評価を得ている。「きんりのまち」シリーズでは、無垢材の床や無塗装の杉板壁材などを利用することで、子どもの感性を刺激するような住環境を創造しようとしている。

準をクリアし、低炭素住宅の認定取得にも積極的に取り組む。

フレイベストというブランド名と木の素材感を大事にした商品イメージ、さらにはポラスの分譲住宅の特徴である街づくりを新規エリアで浸透させていきたい考えで、今春にもフレイベストのモデルハウスをオープンさせる予定だ。

同時に地域の不動産業者などとのネットワークを構築しながら、土地の取得も進めていきたい考えで行えるような規模のプロジェクトにも取り組んでいきたい」（高橋所長）としている。



「LIVE IN cottage 新座・志木」では、新ブランドの展開に先駆けて木の質感を感じることが出来るインテリアデザインを提案



「川越CREST VILLA新座町」では全26棟を分譲

フレイベストでも「きんりのまち」シリーズのコンセプトを継承する一方で、高スペックの長寿命型住宅を展開していく方針だ。また、省エネ性能という面ではトップランナー基